

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日（14：00～15：00）
1．初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		10 人	4 人		14 人

前回の改善計画	利用者様開始前に管理者、ケアマネが収集するアセスメント情報をより充実させる すべての職員が利用開始前に情報を閲覧し共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始前のアセスメント情報が少なく申し送りや口頭で共有する事が多かった。 関わりの中で知りえた情報はパソコンやラインワークス等に入力し情報が共有できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		8 人	6 人		14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		9 人	5 人		14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4 人	9 人	1 人		14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3 人	7 人	4 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 朝礼時やミニカンファレンス、ラインワークス、就業前にパソコンで情報は確認している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 管理者やケアマネはご家族とお話をする機会があるが、職員はご家族とお話をする機会が少ない。 ご家族に職員がどこまでのお話をして良いか判断できていない 利用前の情報が少なく、どこまでの支援を行うのか判断できない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用開始前のアセスメントの情報を充実させて、職員全員が情報を共有できるようにする
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日 (14 : 00～15 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	4 人			14 人

前回の改善計画	週 1 回のケース会議の重要性を職員全員で共有し開催させる 利用者様の声に耳を傾け記録に残し実現させる
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様との会話の中での情報等を記録に残すことができ、その思いに沿った支援ができた。 予定が変更になることはあったが、短い時間でもケース会議を開催し職員間で共有することができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	5 人	3 人	3 人	3 人	14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	6 人	5 人	2 人	1 人	14 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4 人	3 人	5 人	2 人	14 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4 人	5 人	2 人	3 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
天候の状況を確認しながら、近隣をお散歩することができている 利用者様との関わりの中での思いやしたいことを実現することができた。(外出や気分転換ドライブなど) 短時間でも、時間を決めてケース会議を行うことができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケース会議の時間が短い	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者様の思いを傾聴し寄り添い、何気ない言動でも記録し、職員間で情報共有をする。 利用当日の状況に合わせて外出行事やお散歩など柔軟に対応できるような体制をつくる	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日 (14 : 00～15 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	5 人	2 人		14 人

前回の改善計画	複数のケアマネ体制を実現し支援計画の充実を図る 記録の取り方の研修を行いより具体的で簡潔な記録の仕方を全職員が、学習する
前回の改善計画に対する取組み結果	複数のケアマネ体制はできておらず、支援計画も充実できていとは言えない 記録の取り方は、都度説明し職員が理解してきている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		8 人	5 人	1 人	14 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	9 人	3 人	1 人	1 人	14 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4 人	3 人	4 人	3 人	14 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	10 人	2 人	2 人		14 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	8 人	4 人	1 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様の思いやケアの改善などケアマネに都度報告が出来て情報を共有することができた。 職員の記録の内容が充実してきた
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者様のことや業務に関して、管理者やケアマネに報告せず職員や職員間で判断し決めてしまうことがあった。管理者には後で報告することがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者様の思いやケアの内容を具体的に記録し内容の充実をする ケアの内容は職員間で判断せずケアマネ、管理者に確認を行い変更があればケアの内容を精査してケア会議で情報共有する
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日 (14 : 00～15 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	7 人		2 人	14 人

前回の改善計画	認知症カフェの年間計画を作成しそれぞれ担当者を決めすべての正規職員は必ず 1 度は担当する。 100 歳体操の担当者のローテーションを毎回決めすべての正規職員は必ず 1 度は担当する
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症カフェの年間計画は作成することができたが、担当者を決めて職員が担当することはできなかった 100 歳体操は、看護師のみで担当し全ての職員が関わりを持つことはできていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		7 人	7 人		14 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		5 人	5 人	4 人	14 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	6 人	4 人	3 人	1 人	14 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	5 人	4 人	5 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
生き百体操や認知症カフェはたくさんの方が来られていて開催することが出来ている 地域の方で相談に来てくださり、お手伝いをして地域の資源に繋げることができた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の資源が把握できていない 利用者様と地域の関わりがどのように結びつくのか把握できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員が送迎や訪問、買い物等の外出の機会に、地域の資源の情報収集をして管理者やケアマネに報告し、 申し送りやケア会議で情報共有を行う 職員全員が、1 回は生き百体操や認知症カフェに参加する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日 (14 : 00～15 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	11 人	3 人			14 人

前回の改善計画	情報伝達や共有を確実にを行い、職員全員が当日の流れを把握できるようにする。 ホワイトボードでの計画内容の見直しを行い、職員全員が対応できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ホワイトボードは夜勤者が作成して一日の流れを把握できるようになった その他の職員も見直しを行い対応でき、把握できるようになったが急な予定変更に対応が難しい時があった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2 人	8 人	3 人	1 人	14 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5 人	6 人	3 人		14 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	10 人	3 人	1 人		14 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	9 人	3 人	2 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
その時の状況により柔軟なサービスの対応ができている ホワイトボード職員全員が作成できるようになっている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
急な予定変更等の情報伝達や共有ができていない事がありホワイトボードの作成ができない職員がいた 当日の流れなど指示が伝わっていないことがあった	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
情報共有や指示伝達を都度行い確実に情報共有できるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日 (14 : 00～15 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画	地域の活動や会議他業種との連携の会議などに常勤職員は順次参加する。 感染対策をしながら地域の活動やイベントに積極的に参加し交流の機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域のイベントに何があるかを把握できていない職員がいた 地域の方が花や果物を持って来てくださった 地域の活動に順次参加はできなかったが、何名かの職員は参加することができ交流が図れた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		5 人	9 人		14 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3 人	6 人	3 人	2 人	14 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3 人	4 人	5 人	2 人	14 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	12 人	2 人			14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
町内の清掃活動に参加できた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
町内活動やイベントに何があるかの把握ができていない 当日の勤務にもよるが、参加できていない職員が多数いる	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域の活動やイベント、多業種との連携会議等には職員は交代で積極的に参加して地域との交流を図る	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日（14：00～15：00）
7. 運営	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		3 人	8 人	3 人	14 人

前回の改善計画	経営等の会議内容を管理者や役職者が十分精査し職員全てに事業所の現状が理解、認識できるよう文章や伝達等により速やかに情報を共有していく。 特定の職員ではなくすべての職員が地域との取り組みに参加できるように計画を立てる。
前回の改善計画に対する取り組み結果	地域の活動や会議他業種との連携の会議などに常勤職員は順次参加する。 感染対策をしながら地域の活動やイベントに積極的に参加し交流の機会を増やす

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		4 人	8 人	2 人	14 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5 人	9 人		14 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		10 人	3 人	1 人	14 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？		6 人	7 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
相談で来られた方には丁寧に対応させていただいた 利用者様のご家族から頂いた意見は、情報共有されすぐに対応できた カフェに参加できた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
経営や事業所のルール等の情報など共有できていないことがあった 認知症カフェは特定の職員が毎回参加しているため内容や情報が共有されていない（わからない）	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
経営等の会議内容を管理者や役職者が十分精査し職員全てに事業所の現状が理解、認識できるよう文章や伝達等により速やかに情報を共有する。 特定の職員ではなくすべての職員が地域との取り組みに常勤職員 1 名は必ず参加できるように計画を立てる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日 (14 : 00～15 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	10 人	2 人	2 人		14 人

前回の改善計画	引き続き研修はオンライン研修となり、研修委員を中心に受講状況や進捗状況の確認や指導を行い、職員のステップアップに繋がるように選定した研修以外の研修も実施する。 リスクマネジメント委員会を中心に職員全員が職場内のリスクについて検討を行い研修会を実施する
前回の改善計画に対する取組み結果	オンライン研修は自主的に早めに受講をする職員が増えたが個人差はある リスクマネジメントのリスクに対する意識は職員間の差はあるが意識するようになってきた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6 人	5 人	2 人	1 人	14 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3 人		10 人	1 人	14 人
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	1 人	10 人	2 人	14 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	9 人	2 人	2 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること オンライン研修は、その時に困っていることに対しての研修を受講できたので参考になった
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること リスクに対する意識に職員の間で個人差があった オンライン研修は早めに受講する職員や声掛けを行わないと受講しない職員と進捗状況に差があった 地域の連絡会がわからなかった
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修委員や管理者を中心に研修の進捗状況を確認し、職員のステップアップに繋がるよう都度指導していく。事業所内のリスクについても研修を行い意見を出し合い検討していく 職員が地域の連絡会に参加できるように計画を立てる
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 10 日（14：00～15：00）
9. 人権・プライバシー	メンバー	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	5 人	1 人	1 人	14 人

前回の改善計画	会社から設定された研修以外に虐待防止に関する研修など、虐待防止委員会を中心として職員自ら設定し行う 引き続き虐待防止やプライバシー保護のための話し合う機会を設けて意識の統一をする
前回の改善計画に対する取組み結果	会社から設定された研修を受講できた 虐待防止やプライバシー保護の話し合う機会はあったが意識に差があった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10 人	3 人	1 人		14 人
②	虐待は行われていない	9 人	4 人	1 人		14 人
③	プライバシーが守られている	5 人	3 人	3 人	3 人	14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している			2 人	12 人	14 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4 人	5 人	5 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 虐待防止やプライバシー保護について話し合うことができた
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 虐待に関して職員間の認識に違いがある 排泄時にドアが少し開いていたり、宿泊室のドアが開いていたりすることがあった 何気なくスピーチロックをしている事がある
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 引き続き虐待防止やプライバシー保護について職員間で話し合う場を設定し意識の統一をする 会社から設定された研修を委員会を中心に受講して意識を高め統一する
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 松広	代表者	松本 憲睦	法人・事業所の特徴	建物内に放課後等デイサービス、シェアハウスがあり。多世代が交流できる場所となっている。 「毎日を生き生きと自分が自分らしく自分の回復」を理念に掲げ、その人のできることや強みに着目した自立支援のケアを行っている。
事業所名	小規模多機能ホーム おおまち	管理者	藤原 友花		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	1人	1人	人	人	5人	人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価をパート職員を含むすべての職員が行う 具体的な改善点を洗い出して実行する。	自己評価はほぼ全員ができた。 ケース会議等で、その都度改善しないといけないことは話し合い改善につながっている。	事業所の取り組みは良くされていると思います。 地域の拠点として頑張ってください。	自己評価で出た改善点や地域の方から頂いたご意見、要望を実行する。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者が心地よく過ごせるよう、地域の方も入りやすいよう建物内や周辺整備を行う。	地域の方や通りがかりの方に積極的に挨拶が出来た。 月に2回建物周りの清掃を行い整備を行うことが出来た。	職員の方が笑顔で積極的に挨拶し、声を掛けて下さっている。	利用者様が安心して過ごせる環境、地域の方にいつでも来て頂ける入りやすい様に引き続き周辺整備を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	100歳体操の担当者のローテーションを毎回決め、すべての正規職員は必ず1回は担当し、積極的に地域の情報を聞き、事業所のイベントに繋げる。	生き生き百歳体操では、全ての職員が担当することはできなかったが、看護師や職員が担当し顔なじみの関係ができた。	生き生き百歳体操や認知症カフェを開催されていて、地域の住民が事業所へ行っても話やすく相談しやすい。	同じ職員が関わるのではなく、生き生き百歳体操や認知症カフェの担当を決めて、色々な職員が関わられるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	毎月利用者様と外出できる機会をつくる。	自治会の総会には参加できなかったが、地域の清掃活動や地域包括さんとの勉強会等に参加できた。	清掃活動は参加されているが、地域にはたくさんの行事があるのもっと参加してもらいたい。	利用者様が楽しんでいただける様、地域の行事の参加や外出できる機会を増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き、運営推進会議を通して皆様からご意見をいただき、具体的に運営に反映させていく。	定期的に開催することができ、色々なご意見や要望をいただくことができた。	地域の方も高齢化が進んでいます。地域の住民が楽しめる取り組みを増やして欲しい。	運営推進会議を開催して事例検討や、ご意見や要望をいただき事業所の運営に反映させる。

F．事業所の 防災・災害対策	防災意識を高めるため、複数の職員に防火管理者、またその他の災害に対する研修を受講してもらう。	複数の職員に防火管理者の受講はできなかったが、BCPに沿って火災、地震、大雨を想定した訓練に職員が参加することが出来た。地域の方にも参加して頂けた。	生き生き百歳体操で消防訓練を行われています。地域の防災の拠点となるようにしていきたい。	定期的な災害訓練を実施し、地域の訓練にも参加して、緊急時に連携が取れるようにする。
---------------------------	---	---	--	--

